

あい・愛だより

編集・発行:名護市地域経済部地域力推進課

沖縄県名護市港二丁目1番1号 TEL: (0980)53-5445

42号 



入場無料
名護市民対象
定員60名

性の
多様性を知ろう

LGBTQ・性の多様性
一人ひとりが
安心して暮らせる社会に向けて



— 講師 —
NPO 法人
レインボーハート okinawa
理事長 竹内 清文 氏

1977年 岡山県生まれ 沖縄県在住 ゲイ
モノの整理や LGBT・性の多様性をテーマに、
自分の心を整え、自分に正直に生きる大切さを
ピンクの衣装で伝えている。

令和5年 9月27日(水)

開会時間 18:30 開場時間 18:00

場所 名護中央公民館
第1・2研修室

問合せ先 名護市地域経済部 地域力推進課 地域協働係 〒905-0014 名護市港二丁目1番1号
電話 0980 (53) 5445 FAX 0980 (53) 5440 Mail danjyo-k @ city.nago.lg.jp

★対象：名護市民。LGBT当事者である・なしに関わらずどなたでもご参加いただけます。

アンコンシャス・バイアスを知っていますか？



無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）とは

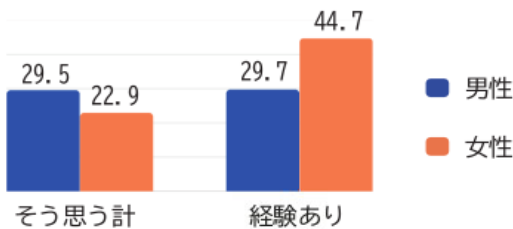
自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。今回のあい・愛だよりでは、性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げます。

性別による無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)の調査結果

内閣府男女共同参画局 令和3年度 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究

【家事・育児は女性がするべきだ】

※「そう思う計」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」
「経験あり」＝「直接に受けた割合」＋「間接的に受けた割合」



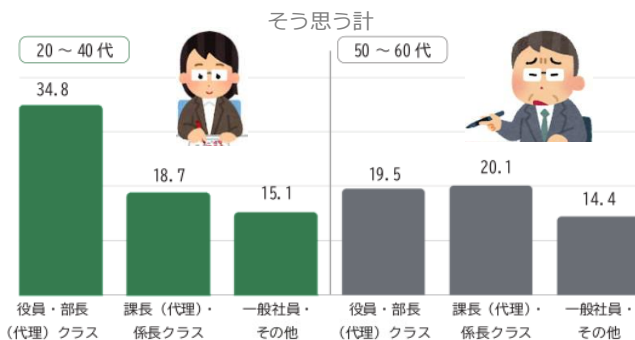
「やっぱり子どもが熱を出したらお母さんが看病するよねー」という発言がサラッと会話に出てきた。悪気があって言っているわけでも、男性への不満ということでもなく、それが普通という感じだった。

■ポイント

女性の半数近くが「女性がするべきだ」という思い込みを決めつけられた経験がある。配偶者・パートナーから言われることが多い。



【仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い】



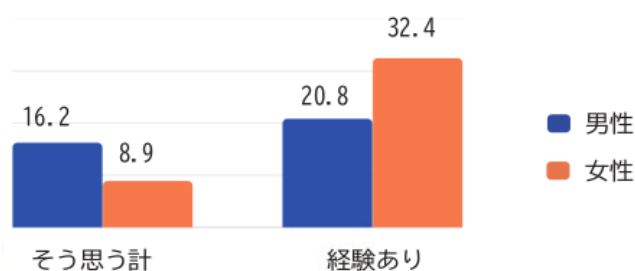
職場で、「子どもの習い事の発表会に父親(男性職員)が行くため、仕事を休むのは違うのではないか、母親が行けばよいのではないか」という話を聞いた。

■ポイント

評価者である役職者の方が、一般社員よりもそう思っている割合が高い。



【実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ】



親の介護で退職願を提出したときに、「介護は女性の配偶者に任せべきだ」と指摘された。

■ポイント

3割越の女性が、「女性がするべきだ」という思い込みを決めつけられた経験がある。そのように言うのは「男性の親戚」が多い。



アンコンシャス・バイアスは日常にあふれている!? ～こんなことはありませんか～

- 血液型をきいて、相手の性格を想像することがある
- 性別、世代、学歴などで相手を見ることがある
- “親が単身赴任中です”と聞くと、まずは「父親」を思い浮かべる（母親は思い浮かばない）
- 「性別」で任せる仕事や、役割を決めていることがある
- 男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」と咄嗟^{とっさ}に思う
- 子育て中の女性に、転勤を伴う仕事の打診はしないほうがいいと思う

あの世代の人たちは、
たいてい〇〇〇だ!



アンコンシャス・バイアスはだれにでもある

アンコンシャス・バイアス自体は誰にでもあって、あること自体が問題ということではありません。過去の経験や見聞きしたことに影響を受けて、自然に培われていくため、アンコンシャス・バイアスのものに良し悪しはありません。

しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、そこから生まれた言動が知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、キャリアに影響をおよぼしたり、自分自身の可能性を狭めてしまう等、様々な影響があるため、注意が必要です。



アンコンシャス・バイアスは解消できる?

アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には、「普通そうだ」「こうあるべきだ」「どうせムリだ」といった、決めつけや押しつけが挙げられます。

価値観の決めつけ言葉

- “普通” そうだ、“たいてい” こうだ など

能力の決めつけ言葉

- どうせムリ・どうせダメ
そんなことできるわけない など

解釈の押し付け言葉
(違う解釈を受け入れない)

- そんなはずない、こうに決まっている など

理想の押し付け言葉
(自分の理想を相手に求める)

- こうある“べき”だ、こうでないとダメだ など

決めつけない、
押し付けない



図表「決めつけない、押し付けない」©copyright All Rights Reserved,一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所

例えば、「子育て中の女性は、普通、長期出張は無理だ」、「この仕事は、たいていの男性には無理だ」といったように、自分の決めつけや押しつけの言動に気づいたなら、「これは私のアンコンシャス・バイアスかも?」と疑ってみてください。

ここがカギ!



- ❁ 頭ごなしに決めつけないこと
- ❁ ひとりひとりと対話をしてみる
- ❁ 相手を尊重する心の姿勢を持つこと

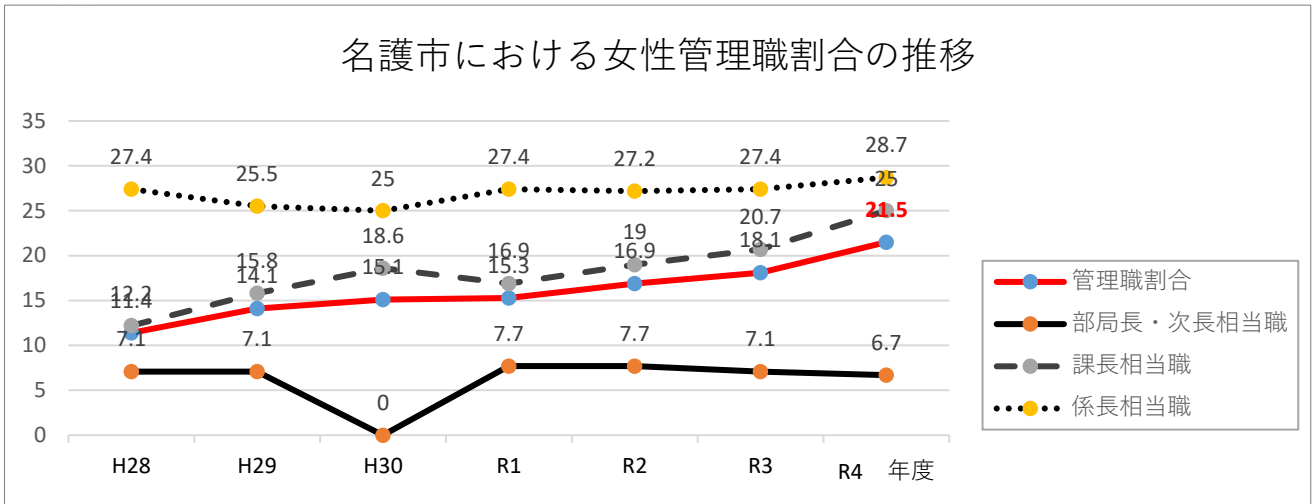


アンコンシャス・バイアスへの気づきは、多様性を認め合う社会の実現に向けての第一歩です。大切なことは、アンコンシャス・バイアスに気づこうと、ひとりひとりが意識し、実践することです。





名護市における女性管理職の登用状況



資料出所：「名護市特定事業主行動計画の実施状況及び名護市における女性の活躍状況の公表（R4.年10月）」

令和4年度における名護市の管理職に占める女性職員の割合は、21.5%となっています。詳細は部局長・次長相当職で6.7%、課長相当職で25.0%、係長相当職28.7%となっており、管理職に占める女性職員の割合は平成28年（2016年）から連続で上昇しています。

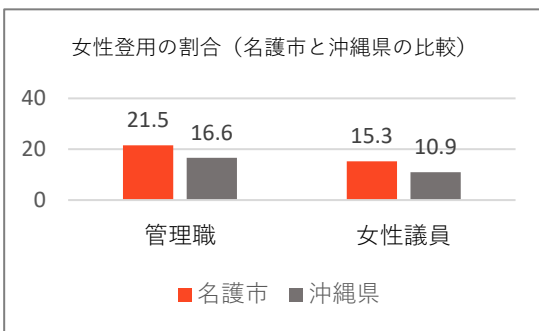
【目標】女性職員の割合

目標値（令和7年度）	
部長級	14.0%
課長級	22.0%
係長級	40.0%

資料出所：「第2次名護市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」

名護市では、左記の計画（令和3年度～7年度の5年間）において、各役職段階にある職員に占める女性職員の割合を、次のように目標設定しています。令和4年度は、部長級と係長級ではまだ目標値に達していませんが、課長級は目標値22.0%のところ25.0%で目標をクリアしています。

また、名護市と沖縄県の女性登用の割合を比較すると、管理職と女性議員（名護市は市議会/沖縄県は県議会での割合）の項目で名護市は沖縄県よりも女性登用の割合が少し高いことがわかります。今後も名護市では「あい・愛プラン」をもとに、男女共同参画の実現に向けて積極的に取り組んでいきます。



資料出所：男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和4年度）」（R4.4.1現在）



男女共同参画月間パネル展を開催しました！



6月1日～30日、男女共同参画月間に伴い、名護市役所のロビーでパネル展を開催しました。同期間に募集していた名護市男女共同参画標語・写真（小・中・高・一般対象）の周知や前年度表彰式の写真、作品を展示しました。また、名護市女性ネットワーク協議会に加盟している各種団体の活動内容を紹介し、たくさんの来庁者の皆さまにご覧いただきました。

